

【様式1】

概要書

<p>研究名</p>	<p>沖縄型木造住宅の耐力壁開発</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>株式会社 クロトン</p>
<p>研究の概要</p>	<p>近年、沖縄県においても、新築戸建住宅の着工件数の割合における在来軸組構法木造住宅の数値が急激に増加している状況にある。また、地域地震係数が0.7といえども、沖縄本島を含む近隣周辺において、過去には大きな地震が発生している経緯がある。今後起こるであろうと想定されている太平洋沿岸の東海、東南海、南海地震に連動して、沖縄海溝周辺を震源とした地震が本県に大きな災害をもたらす予測も立てられている。</p> <p>そこで、新築、既存に係わらず、そのことに対して早急に対策を取らなければならない状況となっていると考えられる。木造住宅の耐震要素として特に重要なものは、耐力壁と水平構面であるが、そのうち、伝統的な構法も意識した沖縄型住宅に設ける耐力壁について、3タイプの仕様（筋交いタイプ・貫のみタイプ・併用タイプ）で製作した耐力壁の構面の耐力実験、データ分析および評価を行った。</p> <p>結果としては、既存のものとしてそれぞれのタイプを評価し、3タイプで比較することができたが、新たな耐力壁の開発には至らなかったため、次年度も引き続き取り組みたいと考える。</p>